



地域医療連携だより

基本理念 「いのちに光を、心にやすらぎを」

いのちの大切さを重んじ、患者さんとの相互信頼の上に立った医療をめざします。



地域がん診療連携拠点病院

もくじ

- ◆ 院長あいさつ
- ◆ 地域医療支援室長就任あいさつ
- ◆ 新任医師紹介

院長あいさつ

盛夏の候、医療機関の皆様方にはますます清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より当院の地域医療における役割に対し、ご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

近年の医療を取り巻く環境は、医療ニーズの多様化など様々な要因でめまぐるしく変化しております。このような中で安心・安全で信頼される適切な医療を効率的に提供するためには、地域診療所の診察時間に合わせた紹介患者の積極的な受入など地域の医療機関との役割分担と緊密な連携を欠かすことはできません。

このことを踏まえ、当院では、本年度の重要課題のひとつとして、「地域医療における当院の役割への積極的な取り組み」を掲げ、地域医療連携を一層推進するため、診療所等への訪問活動をはじめ地域医師会等との意見交換会や勉強会を継続して行うとともに、地域連携だより、ホームページ等を通じて各診療科情報や医療技術情報などの発信を強化してまいります。

また、本年4月には組織改変により、これまでの地域医療連携室と総合相談室の持つ各種相談機能を有機的に連携させるため、総合相談センターを設置し、センター長に前地域医療連携室長の巾外科統括科部長が就任するとともに、この中で地域医療連携室を地域医療支援室に改め、室長に岩崎総合内科統括科部長が就任いたしました。

この新体制で地域診療所との連携の一層の促進と、新たに配置した専門・認定看護師等による在宅復帰に向けた患者支援機能の一体的な強化に取り組んでまいります。

さらに、地域の中核病院としての責務を果たすため、当院が一丸となり、地域医療の充実を推進してまいりますので、ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。



院長 小澤 克良

地域医療支援室長 就任あいさつ

今年度、地域医療支援室長に就任いたしました総合内科の岩崎康一と申します。高齢化社会の進行や医療・介護ニーズが多様化するなかで、地域の診療所・病院・介護福祉施設の皆様との連携は益々重要になってまいりました。

当院は地域の先生方のご協力をいただきながら急性期医療を担う病院として臓器別専門医療、救急医療、がん診療、周産期医療、小児医療などを行っておりますが、地域医療支援室といたしましては、複数の医療問題をかかえる高齢の患者さんや在宅医療の支援強化などに、より積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

今年度から患者さんの在宅復帰などを支援する看護支援係も立ち上げました。

地域の医療・介護機関の皆様との密接な連携を心がけ、逆紹介もさらに推進したいと考えております。

今後ともよろしくお願いいたします。



地域医療支援室長
岩崎 康一

新任医師紹介

耳鼻咽喉科 科長 黄 淳一

4月に赴任させていただきました黄淳一（こう じゅんいち）と申します。

神奈川県大磯町出身。平成4年山梨医科大学（現山梨大学）の卒業です。

前任地である山梨県立中央病院では17年間勤務させていただきました。

耳鼻咽喉科疾患は、耳、鼻、口腔、咽頭、喉頭、頸部、顔面と広い範囲にわたっており、それぞれの炎症や腫瘍に加え、めまいや顔面神経麻痺などの神経性の疾患もあり、さらには昨今の高齢化に伴い、嚥下障害の評価や治療の一端を担うという多岐にわたる診療を行っております。山梨県耳鼻咽喉科医療の中で手術、入院可能な施設として、専門かつ安全な治療を速やかに行ない、患者様が元気にご紹介いただいた先生方の元へお戻りいただけるように、日々努力していきたくて考えています。入院、手術、治療結果、退院などの情報もなるべく密にご報告したいと思っております。何かありましたらお気軽にご相談ください。

これからもよろしくお願いいたします。



脳神経外科 科長 西山 義久

本年4月から市立甲府病院脳神経外科へ赴任しました西山義久と申します。

甲府市武田に生まれ、平成5年山梨医科大学を卒業し、大学附属病院とその関連病院を中心に勤務してまいりました。山梨（加納岩総合病院、甲府城南病院）、栃木（那須脳神経外科病院）、埼玉（関東脳神経外科病院）、静岡（榛原総合病院、静岡医療センター）、長野（諏訪中央病院）などでお世話になりましたが、今回は約2年ぶりの山梨勤務となります。

臨床面では、くも膜下出血、脳出血、脳梗塞などの脳血管障害に対する急性期治療を中心に診療にあたってきました。また、地域医療、医学教育、臨床研究などの仕事にも従事させていただきました。これらの知識や経験を活かしつつ、さらに研鑽を重ね、地域医療に少しでも貢献できるよう努力してまいります。いろいろとお世話になるとは思いますが、何卒よろしくお申し上げます。



小児科 科長 伯耆原 祥（ほうきばら しょう）

本年4月から着任しました。20数年前に2年間お世話になり、久しぶりに戻ってまいりました。20数年前は甲府市幸町にありました。増築が重ねられ、迷路のような感じの病院であったと記憶しています。それに比較すると、新しい病院はきれいで増築はされず、迷わなくていいなあと、思っていたら、今回も迷ってしまい右往左往してしまいました。当時のスタッフも何人か残っていて、懐かしさと、よる年波にお互い逆らえない現実を自覚させられています。



よく、専門は？ と聞かれるのですが、「たぶん、総合小児科なのかな？ できれば『総合小児科医です。』と胸を張って言えるようになりたいな。」と思っています。（アレルギー・免疫、内分泌は興味を持って勉強しています。）きっと多くの小児科の先生は総合小児科医として、その子の疾患のみならず、成長発達、家族関係、友人関係なども心を配りながら診療されているのではないかと思います。20 数年前も駆け出しの小児科医でしたが、今でもまだまだ分からないことも多く、いろいろ迷いながら、悩みながら診療しています。みなさまに教えられ、支えられないと診療していきません。

なにとぞ、ご指導、ご教授よろしくお願ひ申し上げます。

小児科 医師 村瀬 翼

はじめまして、4月から市立甲府病院小児科に赴任した村瀬 翼と申します。昨年は信州大学附属病院で多くの患者を診療させていただいておりました。医師としての経験はまだ浅く、ご迷惑をおかけすることも多いですが、地域の方々へ信頼されるよう日々精進してまいりたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。



循環器内科 医長 望田 哲司

本年4月より循環器内科に赴任しました。2010年3月までも当院に勤務しており、このたび5年ぶりの市立甲府病院勤務です。本年より循環器内科常勤医が増員になりました。これによりさらに機動力が増したことで、救急対応中であっても次の救急要請に応じられるようになりました。これを機に近隣医療機関と今まで以上に連携を強化できればと思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。



循環器内科 医長 鈴木 浩三

4月1日に循環器内科として赴任いたしました鈴木浩三です。卒後臨床研修開始後の世代ですが、今年で医師として10年目、山梨大学第二内科に入局して8年目になりました。以前1年間市立甲府病院で診療をさせていただいておりましたが、その後大学院に入学・卒業し、医学に対する様々な考え方を学んで、再度こちらで診療をさせていただくこととなりました。元々チームプレーの多い循環器内科ですが、日々ディスカッションを行ないながらより良い医療を提供できるよう奮闘しております。循環器内科医としてはフットワークの軽さを大切にして今後も診療業務に従事していきたいと考えています。今後ともよろしくお願ひいたします。



歯科口腔外科 医師 中村 亮介

4月より市立甲府病院 歯科口腔外科に赴任しました中村亮介と申します。平成21年に東京医科歯科大学を卒業し、4年間の大学院を修了、今年度で歯科医師として6年目を迎えます。山梨で勤務するのも生活するのも初めてです。歯科口腔外科では、親知らずの抜歯や顎関節症、治りの悪い口内炎など口の中の痛みや悩みにお答えしていきます。また、高齢化が進んでいる中で、全身疾患と関連のある口腔内の疾患もますます増えていくことが予想されます。地域病院の歯科として他科との連携をとりながら、さまざまな疾患に柔軟に対応していくことができると考えています。まだまだ不慣れなことも多くありますが、質の高い医療を提供できるように努めて参りますので、よろしくお願ひいたします。



消化器内科 医師 島村 成樹

本年4月より消化器内科に赴任いたしました島村成樹と申します。

山梨大学を卒業後、中野総合病院で1年間、山梨大学医学部附属病院で1年間研修を行ない、昨年山梨大学医学部附属病院消化器内科に入局いたしました。消化器内科医師としては今年で2年目になります。不慣れな点多いですが、少しでも地域の患者さんの役に立てるよう頑張りたいと思います。

よろしくお願ひいたします。



消化器内科 医師 石田 剛士

今年度から消化器内科医師として市立甲府病院で勤務させていただく石田剛士と申します。山梨大学医学部を卒業し、県立中央病院で2年間の研修を経て昨年度山梨大学の第一内科（消化器内科）に入局し現在に至ります。

消化器内科医として、患者さまや他科の先生方のお役に立てるように日々努力していきます。まだまだご迷惑かけることも多いと思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。



消化器内科 医師 吉村 大

本年4月より消化器内科に赴任いたしました吉村 大と申します。

静岡県沼津市の出身で大学は山梨大学医学部を卒業しました。卒業後山梨県立中央病院で2年間初期研修を行ない、3年目に山梨大学医学部第一内科に入局しました。1年間大学病院で内視鏡等の検査や治療を含め臨床の場で研鑽を積み、現在4年目の医師として当院にて診療に当たらせて頂いております。

まだまだ勉強中の身であり、至らぬ点多く皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、少しでも患者様のお力になれるよう、皆様のお役に立てるように努力していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



産婦人科 医師 安田 元己

4月より市立甲府病院産婦人科に赴任した安田元己と申します。

昨年までは山梨県立中央病院に1年間勤務していました。

産婦人科では妊娠・分娩だけでなく、婦人科疾患や更年期障害、月経困難、不妊症など女性の生活にかかわる様々な問題を扱っています。少しでも皆さんのお役に立てるように尽力していきます。今後ともよろしくお願ひいたします。



整形外科 医師 水谷 将大

4月より市立甲府病院整形外科で勤務させていただくことになった水谷将大と申します。3月に初期研修医を卒業したばかりで、卒後3年目になります。

大阪で生まれ、福島、東京、愛知と各地を転々としたが、大学時代お世話になった山梨県の土地柄、人柄にほれ込み、少しでも恩返しできればと思ひ、市立甲府病院で働かせていただくことになりました。

整形外科はベテランの先生方が多く、皆さん専門分野を持ちつつ、体のどの部位に関しても非常に詳しい知識と高い手術の技術をもっていらっしゃいます。

そのようなプロフェッショナルの中に一人若手であることは、プレッシャーではありますが、非常に勉強になる日々を送っています。

少しでも整形外科、病院、山梨県に貢献できるよう、自分にできることをこつこつと積み上げていきます。今後ともよろしくお願ひいたします。

